

# 第1号議案：2022年度事業活動報告 (2022年4月～2023年3月)

## 1. 2022年度の総括

他団体と連携して安倍元首相の国葬反対キャンペーンなどに積極的に取り組んだが、特に年度後半は、事務所移転の頓挫や、事務局スタッフ退職にともなう後任人事が定まらず、セミナー2回を企画し機関誌2号を発行するのみに終わった。

## 2. 2022年度の活動報告

### 2-1. 出版事業

#### (1) 機関誌『f visions』

##### ①発行

・05号(2022年6月発行)

特集「深まる軍事化の陰で」

発行部数 700部

・06号(2023年1月発行)

特集「保守政治とジェンダー・生殖・セクシュアリティ」

発行部数 700部

##### ②編集体制

5号は伊藤春奈さん、6号は岩崎眞美子さんに編集業務を委託した。

##### ③販売について

夜光社に委託したほか、模索舎、忘日舎、エトセトラブックスに直卸した。

#### (2) 販売

売上：524,363円

(前年度：659,938円)

予算比：59.6%、前年比：79.4%

### 2-2. 教育事業

(1) アフガニスタンからの難民支援課題を考えるセミナー

・実施：2022年6月4日(土)

・講師：小川玲子さん

・参加者数：22名(申込30名、後日視聴34回)

(2) 機関誌発行記念イベント

・実施：2022年9月19日(月)

・講師：清末愛砂さん、楚南有香子さん

・参加者数：22名

### 2-3. 政策提言事業

#### (1) 国葬反対キャンペーン

ふえみん婦人民主クラブなどと「国葬させない女たちの会実行委員会」を組織し、以下の活動を行った。

(8/3～5) 「臨時国会に私たちの声を！国葬させない抗議スタンディング&リレートーク」

(9/10) 「家父長制政治を葬ろう！国葬させない抗議スタンディング&リレートーク」

(9/26) 街頭スタンディング@新宿駅

(9/27) 国会前集会参加

#### (2) 開発協力大綱および「女性・平和・安全保障」(WPS) 行動計画の改定に関する活動

関心をもつメンバーで議論しながら、外務省の市民向け説明会や ODA 政策協議に

# 第1号議案：2022年度事業活動報告 (2022年4月～2023年3月)

参加し、意見を提出するなどの働きかけを行った。

(8/9) 第1回意見交換会参加。

(8月) 継続した意見交換会の開催要請準備

(9/9) 第2回意見交換会参加

(1月) 開発協力大綱改定に関する市民社会ネットワークに団体参加

(3/20) NGO・外務省定期協議会第3回 ODA 政策協議会に議題提出・参加

(3月) パブリックコメントへのよびかけ

## (3) 困難女性支援法

1月30日開催院内集会「困難女性支援法のよりよい運用を願う支援団体のつどい」に参加し発言を行った。またパブコメ参加のよびかけを行った。

## (4) その他

### ① 女性差別撤廃条約選択議定書批准

OPCEDAW アクションの賛同団体として毎月の全体会議への出席、女性差別撤廃条約・選択議定書の批准を求める署名運動やセミナー等への参加・協力をした。

② 24条変えさせないキャンペーンの窓口団体として連絡や発送事務を行った。

③ 「女たちの21世紀」No.90【特集】掲載 米津知子×飯野由里子対談の再録を現代書館に許可した。

### ④ 団体賛同・協力

(6/26) パリテキャンペーン「ジェンダ

ー視点で争点チェック！」プロジェクトイベントに参加

(8/28) 杉田水脈政務官任命に対する抗議文への賛同(女性差別撤廃条約実現アクション)に団体賛同

(9/28) 「「開発協力大綱の改定プロセスに関する要請書」(メコンウォッチ)に団体賛同

(9/28) 武力紛争下における女性の権利擁護に関する NGO オープンレター(NGO Working Group on Women, Peace and Security)に団体賛同

(10/1) ミャンマーODA 停止を求める要請書(メコンウォッチ)に団体賛同

(10/3) 優生保護法問題の全面解決をめざす10.25全国集会に団体賛同

(10/8) 「国等に対し緊急に在日コリアンに対するヘイトクライムを止める具体的行動を求める声明」(外国人権法連絡会)に団体賛同

(10/10) 「史上最悪の介護保険改定を許さない！」団体賛同

(10/20) 「開発協力大綱」改定に対する NGO 要請書

(11/14) セーフ・アボーション院内集会(#もっと安全な中絶をアクション)

(12/2) 日本政府の対ミャンマーODAの停止を求める要請(メコンウォッチ)

(12/22) 杉田ヘイト発言に対し、更迭を求める要請(マイノリティ女性フォーラム等)

(1/11) ウィメンズマーチ東京2023に賛

# 第1号議案：2022年度事業活動報告 (2022年4月～2023年3月)

同

(3月) 入管法改悪反対(移住連)に団体賛同

(3/20) 優生保護法問題の早期・全面解決を求める3.28院内集会に団体賛同

になってしまった。渋谷事務所の更新期限が23年3月末であったため、複数の候補について検討を重ねたがまとまらず、当面、女性学習財団内の事務室を「男女共同参画と災害復興ネットワーク」と共用することにした。

渋谷の事務所退去にともなうさまざまな条件については尾家弁護士を通して基金と交渉を重ねた。

## 2-4. 組織基盤

### (1) 理事会・運営体制

#### 【理事】

<継続> 本山央子(代表理事)、  
清水さつき(副代表理事)、  
福田紀子  
船橋邦子  
梁永山聡子

#### 【監事】

<継続> 小田原琳

### (2) 事務局体制

森小百合さん、細島汐華さんが9月で退職することになったため新スタッフを公募し2名を採用したが、数週間で退職した。会計担当の三輪さんはそのまま継続。本来の事務局機能はアルバイト数名と理事でなんとか維持してきた。11月から李曉媛(りぎょうえん)さん、高屋恵津子さんがアルバイトとして事務局業務を担当した。

### (3) 事務所移転について

門前仲町にあるスペースへ9月に移転を完了させる予定で移転作業を進めていたが、先方側の事情から、直前に突然、使用不可

### (4) 財政基盤

#### ①助成金

ソーシャル・ジャスティス基金、市川房枝女性の政治参画基金に申請したが通らなかった

②寄付金 事務所移転のための支援を呼びかけ、936,777円の寄付金を受け取った。

#### ③その他

共同事業、物品販売事業、設備貸出事業はほぼ実績がなかった。

### (5) 会員

年度末時点で321名(前年比-32名)となった。

#### ・会費割引制度の導入

経済的余裕がない方も会員として活動に参加しつづけられることを目的とし、会費割引制度を導入した。利用者9人。